

 株式会社buzz

# AIで時短しても、 会社のお金は変わらない

年商1億の会社が「丸ごと置き換える側」に回る方法

【開催日】

株式会社buzz

【テスト】

関根大智

**効率化だけでは、  
会社はあまり変わらない**

AIで速くなった時間

26分

1人あたり・1週間

仕事全体の時間が減った人

4人に1人

AIを使っている人のうち

浮いた時間の行き先

大半は  
いつもの仕事へ

時短しても、手一杯は変わらない



# 時短しても、 請求書は1枚も減らない

---

社員一人ひとりが速くなっても、手一杯は変わらない。  
ツール代・外注費の請求書も、毎月そのまま



Before

**年5,000万円前後**

- 利用料：1アカウント 月4万円
- アカウントは約100個

After

**サーバー代 年数十万円**

- エンジニアではない社員が、AIで作直し
- 最初の形は1ヶ月でできた

時短じゃない。ツールそのものを、手放した

## 使い方1

**一人ひとりが、  
ちょっと速くなる**

- 例：請求書を1枚5分速く作る
- 浮いた数分は散らばって、いつもの仕事に吸われる



## 使い方2

**業務やツールを、  
丸ごと置き換える**

- 例：人が請求書を作る作業がなくなる
- ツールなら請求書が止まる。手作業ならまとまった時間が空く

会社のお金が一番大きく変わるのは、右

チャットで教えてください

# ツール代と外注費、 合わせて月いくら？

ツール：会計ソフト／勤怠管理／顧客管理

外注：ホームページの更新／経理・事務の代行

チャットに「月〇万円くらい」と書いてください。  
最初は、ツール1本・毎日の作業1つから。見分け方は後半でお伝えします

個人の判断に任せている

64.9%

3社に2社

会社全体でAIツールを入れている

4.1%

25社に1社

## 社長

「とりあえず使ってみて」

何に使うかは、任せたまま

## 社員

メールの下書き・議事録の要約

「まあ便利」で止まる

## 会社

何も変わらない

手一杯も、固定費もそのまま

進まない理由 1位 具体的な活用場面が不明 35.6% / 2位 導入を推進する人材がない 32.0%

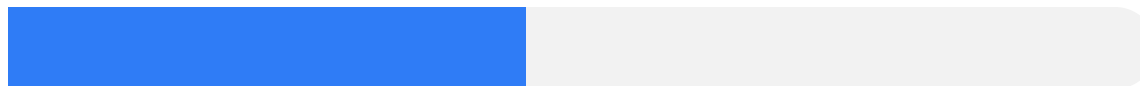
# 社長のせいでは ありません

---

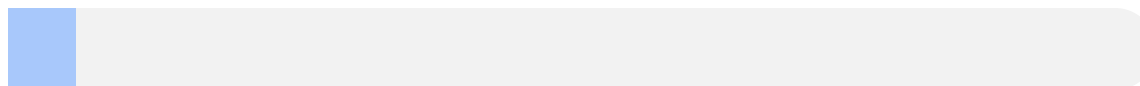
研修・セミナー・YouTube・本で一番多いのは「プロンプトの書き方」。  
全部「一人ひとりがちょっと速くなる」側でした



文章の作成・要約・校正



45.1%

プログラミング支援  
(コード生成など)

5.9%

助成の対象外

汎用的な  
プロンプトの作り方



助成の対象

営業担当者が生成AIで  
提案書を作る訓練

仕事に直結する訓練が、対象になる

チャットで教えてください

# 御社のAIの使い方は？

① まだほとんど使っていない

② 一部の社員が使っている

③ 会社として使っている

番号だけでOKです

# 差がつき始めるのは、 ここから

---

今はまだ、ほとんどの会社が横並び。

でも「作る側」に回った会社が、もう100社に6社（主な用途がプログラミング支援 5.9%）



### 01

#### 最初の形

AIを使って、1ヶ月でできた

### 02

#### 使える状態に

実装まで2～3ヶ月

### 03

#### テスト・自社向けの機能追加

約2ヶ月。ツールの方を業務に合わせられる

月4万円のツール1つでも、年48万円が毎年出ていく

## 岡田研磨

石川県金沢市

金属製品製造業／85名

### 手放したもの

紙とExcelの管理 → 自社専用システム「OKADA Board」（アプリ約30種以上）

### 誰が

エンジニアではない専務（約2年、AIと1,000時間以上対話）

### 結果

**外注なら約8,000万円 → AIの月額利用料のみ**

労働時間（毎月）

**530時間**

毎月減った。1日8時間×月20日で、3人分ちょっと

紙（毎月）

**5,000~6,000枚**

毎月減った。書いて、綴じて、探していた作業

## アイニコグループ

奈良県・京都府南部  
住宅／介護／保育など  
IT部門なし

### 進め方

全社勉強会 → 10事業部から約2人ずつ、21人で1年間（毎週1時間、外部の専門家と）

### 例

送迎ルート（ベテラン30分、新人1時間） → AIがルートを提案する仕組みを自作

### 結果

**10事業部の合計で 年2,247時間減**

## コプレック

静岡県掛川市

板金加工／約70人

### 研修

社員13人に外部のAI研修：450万～500万円（1人35万～38万円）

### 現場

前職が飲食の溶接担当 → 作業完了を知らせるアプリを、実作業約6時間で

### 社長

人事・給与計算のシステムを、1ヶ月足らずで自作

# 「速くした」ではなく 「手放した」

---

buzz：月額のLINE配信ツール / 岡田研磨：紙とExcelの管理、8,000万円の開発外注

アイニコグループ：ベテランの頭の中にあった送迎ルートづくり / コプレック：人事・給与計算を外に頼ること



1

**毎日使う業務から選ぶ**

柱① 選ぶ

2

**範囲を絞って、丸ごと置き換える**

柱② 置き換える

3

**全員が使い続ける仕組みをつくる**

柱③ 使い続ける

## 01 毎日・毎週、同じ形でくり返している

毎回やり方が違う仕事は、置き換えても使う場面がない

## 02 なくなったら、毎月いくら・何時間浮くか答えられる

数字で答えられる業務ほど、お金に変わりやすい

## 03 入力から完成まで、パソコンの画面の中で終わる

今のAIが一番得意なところ

## 今

### Excelで報告して、まとめる

営業5人がExcelで報告 → 事務がまとめる → 社長は月初に知る

## 速くなる

### まとめる作業は、毎月残る

営業10分・事務30分速くなる

## 置き換え

### 月末のまとめ作業が、なくなる

スマホで入力 → 集計は自動 → 社長はいつでも見られる

## 時短

一人ひとりに  
数分ずつ散らばる

- いつもの仕事に吸われて、消える

## 置き換え

「事務の方の、  
毎月の半日」がまとまって空く

- まとまっているから、会社が使い道を決められる

ここが一番大事

# お金が変わるのは、 使い道を決めたとき

空いた時間で、何をやるか。誰を雇わずに済ませるか  
(例：事務の増員をしない／経理の外注を社内に戻す)

チャットで教えてください

## 3つの質問に当てはまりそうな業務は？

例：見積書

例：シフト表

例：日報の入力

一言で大丈夫です。書いた業務は、最後にもう一度使います

# 始めるのは、 毎日使う業務から

---

金額か時間がはっきりしているものから。

岡田研磨（AI以前のDX）：タブレット5台は定着せず → 毎日全員が書く検査成績書から



1

### ツール代

Lステップ／kintone（2024年11月、  
スタンダード月1,500円→1,800円、最  
小契約5→10ユーザー）

2

### 外注費

岡田研磨（外注なら8,000万円）

3

### 手作業

送迎ルート／売上報告

○ 管理表・レポート・入力フォームから      × いきなり基幹システムを全部作り直す



## アプリを1万個作っても、 10個しか使われないことも多い

林英俊氏（製造DX協会 代表理事）の発言の趣旨

オーテック（愛知・自動車部品／約80人）：16人が約6ヶ月の研修 → 全員がツールを作成 → 今も使われているのは5件ほど

01

全社勉強会

まず全員で知る

02

事業部ごとの代表者

約2人ずつ、21人

03

毎週1時間＋専門家

1年間続ける

04

半年に1回のAI選手権

1等チームに1人10万円

作る人を一人にしない / うまくいったことを社内に見せる / 使い道を決めるのは会社の仕事

1

**教える人がいない**

詳しい社員に任せると「個人の時短」に戻る

2

**時間がない**

岡田研磨の専務は、AIとの対話に1,000時間以上

3

**続ける仕組みがない**

16人が作って、残ったのは5件

自分たちでやる場合も、3つの質問と3つの柱はそのまま使えます

## 01

**AIの使い方は2種類**

お金が一番大きく変わるのは「丸ごと置き換える」

---

## 02

**最初の一步：置き換えの候補を1つ見つける**

3つの質問を使う

---

## 03

**大事な判断：どの業務から始めるか**

選び間違えると、作っても使われない

---

## 04

**本当に置き換えられるかは、作ってみないと分からない**

見分け方だけでは決めきれない

---

AI活用診断（無料）

**御社の業務を1つ選び、  
丸ごと置き換えられるかを、  
その場で試作して確かめます**

01

業務を1つ選んでおく

チャットに書いた業務で  
OK

02

今のやり方を聞く

誰が・何時間・何を使っ  
て

03

その場で試作

画面を見ながら

04

目安と次の一歩

年に何時間・いくら変わ  
りそうか【要確認】

無料 / 【所要時間・形式】 / 枚数の制限なし / 申込期限【〇月〇日】まで

## 1ヶ月目

### 選ぶ

置き換える業務を決める

## 2ヶ月目

### 置き換える

範囲を絞って、実際に作る

## 3ヶ月目

### 使い続ける

社内で使われる仕組みをつくる

1人30万円・最低10人から / 診断を受けても、研修の申込は必須ではありません

**01** 要件を満たし支給が決定されれば、研修費の最大75%が訓練後に助成されます

1人あたりの上限があります

**02** 受講料は、いったん全額お支払いいただきます

**03** 申請の手続きは、提携の社会保険労務士がサポートします

**04** 対象になるかどうかは、診断で個別に確認します

向いている

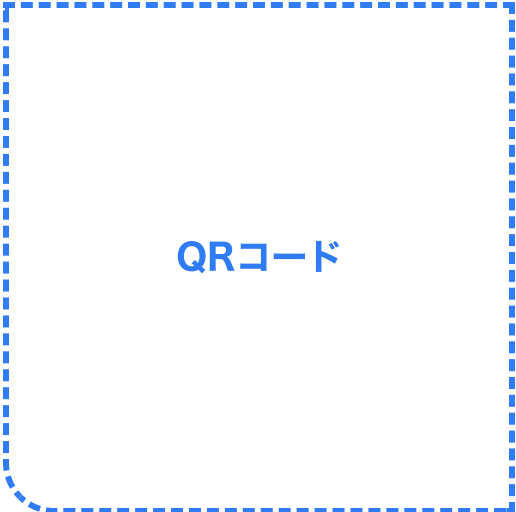
## 置き換える側に 回りたい会社

- 毎月払っているツール代・外注費がある
- 社長が社員に教える時間がない
- 10人以上で取り組める

向いていない

## 今のままで 十分な会社

- 一人ひとりの作業が少し速くなれば十分



QRコード

名前・会社名・連絡先だけ。  
30秒で完了します

URL：【申込URL】

申込期限：【○月○日】まで

# AIで時短しても、会社のお金は変わらない。 丸ごと置き換えると、変わる。

---

たとえば3ヶ月後：月末に誰も売上報告をまとめていない／社長はスマホで今月の数字を見ている／毎月のツール代が1本減っている

まずは御社の業務を1つ、一緒に確かめさせてください

